

掛時計 | 電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

（例：AM○○○、KR○○○、SQ○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 AFW-066P

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元通りの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れが大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

必ずお守りください 安全上のご注意

警告

<アルカリ電池について>

- (1) ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などを行わないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。

時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。

掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分

耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。

※ 掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。
※ 製品によっては、掛け具が付属しないものがあります	※ 付属していない場合は、市販の掛け具をご使用ください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具をご使用ください。 ※ 市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記の<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- (1) 電池は必ず⊖側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。
また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

使用上のご注意

- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤作動することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、表示されていた時刻などはすべてリセットされます。
- 海外で使用される場合は、手動で時刻を合わせてください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。

時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まることがあります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
（結露に注意してください）

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。
なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

電波クロックについて

■ 電波時計／電波修正機能とは？

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■ 標準電波とは？

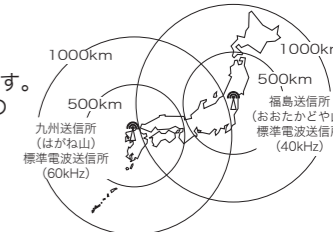
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所から異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『原子時計』によるものです。

■ 電波の受信について

標準電波の受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000km～1200kmです。この製品は、40kHz（福島送信所）、60kHz（九州送信所）のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。

■ ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間はコールサインの送信を行うため、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。
（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



お手入れについて

末永くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をお勧めします。

詳しくは販売店にご相談ください。

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾きさせてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾きさせてください。

※ お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れが大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

各部の名称

【正面】

LEDランプ
光センサー
振り子
モニターボタン

【裏面】

掛け部
モードボタン
受信ボタン
リセットボタン
切り替えスイッチ
音量調節つまみ
操作部
ふた
振り子止め (外す)
振り子
振り子
・電池を入れる
単3形乾電池1個
単2形乾電池 4個
・振り子を掛ける

※時計のデザイン、電池やボタンの位置などが異なる場合があります。

付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書1枚
- 振り子1個
- モニター用電池（単2形乾電池4個、単3形乾電池1個）
- 木ねじ1本（厚い木の壁・木の柱専用）
- 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ1枚

※ 付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

※ 石膏ボード用掛け具（掛金具1個、釘5本（1本は予備））は、製品によっては付属しません。

製品仕様

改良のため予告なく変更する場合があります

精度：	平均月差±20秒 （電波受信による時刻修正を行わない場合・気温5℃～35℃で使用した場合）
使用温度範囲：	-10℃～+50℃
使用電池：	単2形乾電池 4個、単3形乾電池 1個
電池寿命：	約1年 単2マンガン乾電池（R14P）4個、単3アルカリ乾電池（LR6）1個を使用時 ※1日あたり、16回の報時動作を行った場合（音量「中」のとき）
電波受信機能：	・自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信（受信から次の受信まではクオーツの精度で動作） ・手動受信… ボタン操作による2つの電波（40kHz/60kHz）のうち最適な方を選択し、受信します。
受信結果確認機能：	ボタン操作により、LEDランプで表示
時刻合わせ機能：	電波受信による自動セット、または手動セット
報時：	正時（毎時00分）にメロディ演奏（曲自動送り）
光センサーによる	・自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止 ・自動鳴止機能：暗くなると報時を停止

※指針（針の表示）誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	・電池が入っていない ・電池が正しい向きに入っていない ・電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2～3回転させてください。
針が不規則に動く	・静電気などにより、マイコンが誤作動している	・リセットボタンを押してください。
秒針が「12時の位置」で停止している	・電波の受信中、または時刻修正中である	・受信終了後、通常の動作に戻ります。
ボタンやスイッチの操作が効かない	・電波の受信に成功し、時刻の修正中である ・リセット後の、電波の受信中である	・室内が明るくなると秒針が動き始めます。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。
時刻が合っていない	・電池の容量が少なくなっている ・きちんとリセットされていない	・時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。
振り子が動かない	・電池の容量が少なくなっている ・時計が傾いている	・「電波を受信できなかった場合」を参照し、再度受信させてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。
報時しない	・自動鳴り止め機能が作動している ・切り替えスイッチがOFFになっている	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを確実に押してください。

ご使用方法

- 電池を入れる（単2形乾電池4個、単3形乾電池1個）**
本体裏面のふたを開けて、⊖側から電池を入れてください。振り子止めを引き抜いてください。
注意
 - ・電池の⊕⊖の向きを間違えないように注意してください。
 - ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。
- （リセットボタン）を押す**
受信を開始し、現在の時刻に調整されます。
・針が下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。（4時00分、8時00分、12時00分の各00秒）
・受信に必要な時間は最長約20分です。
重要 電池の交換後は、必ず●（リセットボタン）を押してください。
※リセットボタンは先の細いもので押してください。
※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。
参照 詳しくは、裏面の『電波クロックについて』をご覧ください。

受信に成功した場合

自動で時針と分針が現在の時刻に調整されます。その後、「00秒」に合わせて秒針が動き出します。

受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、秒針が動き始めます。このとき、電波の再受信は行いません。
参照 『電波を受信できなかった場合』の手順に従って、場所を変えて再度受信させるか、手動で時刻を合わせてください。

- 受信結果を確認する**
通常のご使用中に□（受信ボタン）を1回押すと、以下のようにLEDランプの点滅状態によって、電波の受信結果が表示されます。

ゆっくりと点滅	過去24時間以内に受信に成功しています。
早く点滅	過去24時間以内に、一度も受信できていません。

※LEDランプの点滅は数秒間続きます。

- 正時（毎時00分）にメロディを鳴らす／鳴らさない**
□（切り替えスイッチ）を選択してください。

ON	正時になると報時動作（メロディ演奏）を行います。（メロディは、正時になるたびに切り替わります）
OFF	正時になっても報時動作を行いません。

※暗い所では光センサーにより、報時動作を行いません。（睡眠の妨げ防止のため）

- 振り子を掛ける／本製品を設置する**
裏面のふたを開けて、振り子の向きを確かめて振り竿の下部に掛けて、軽く下へ引いてください。（左右に軽く動かして確実に掛かっていることを確かめてください）本製品を、使用したい場所に掛けてください。
※窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。
斜めに掛けた場合、振り子が動作しないことがあります。
参照 付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。

自動受信について

毎日、午前2時に自動で電波を受信します。
・以後は3時間ごとに電波の受信を繰り返します。（1日8回）
この場合、秒針は「12時の位置」で停止し、分針は約30秒ごとに動作することがあります。（故障ではありません）

便利な機能

光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーによって時計の周囲の明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると、「00秒」に合わせて秒針が動き出します。
※ 秒針が停止している間も、時針と分針は正しい時刻を表示します。

電波を受信できなかった場合

手動で電波を受信して時刻を合わせる

- ① 電波状況の良い窓際などへ移動する
- ② □（受信ボタン）を長く押す（約2秒）
LEDランプが点灯するまで押し続けてください。しばらくすると秒針が停止し、受信を開始します。
・受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて、もう一度受信させてください。

手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせるすることができます。

- ① ○（モードボタン）を長く押す（約2秒）
秒針が停止するまで押し続けてください。
- ② □（受信ボタン）を押して時刻を合わせる
ボタンを1回押すごとに、分針が1分進みます。ボタンを押し続けると、ボタン離すまで分針が進み続けます。
- ③ ○（モードボタン）を押す
ボタンを押すと同時に、秒針が動き出します。
※ 5分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に秒針が動き出します。

メロディを鳴らす場合

音量を調節する

○（音量調節つまみ）でメロディ演奏の音量を調節できます。
MINの方向に回すと、音量が小さくなります。
MAXの方向に回すと、音量が大きくなります。

・○（モニターボタン）を押すと、設定した音量でメロディが鳴ります。音量調節つまみを回して、好みの音量に調節してください。
※ 調整中にメロディを途中で止めたい場合は、□（切り替えスイッチ）をいったんOFFにしてください。
※ 鳴らすメロディを選ぶことはできません。あらかじめ設定されている曲が順に流れます。（曲名や曲数は機種によって異なります）
参照 詳しくは、『便利な機能』の『モニター機能について』をご覧ください。

自動受信を止めたい場合

海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください。

- ① □（受信ボタン）を長く押す（約7秒以上）
※途中でLEDランプが点灯しますが、そのまま押し続けてください。LEDランプが素早く点滅し（1秒間）、自動受信が止まったことをお知らせします。
メモ
 - ・自動受信を止めても、手動受信を実施すると電波の受信を開始します。（その後、自動受信は行わず、クオーツの精度で動作します）
 - ・自動受信を再開したいときは、●（リセットボタン）を押してください。
- ② 『手動で時刻を合わせる』の手順に従って時刻を合わせる

モニター機能について

○（モニターボタン）を押すと、時刻に関係なく報時動作（メロディ演奏）を行います。また、演奏中にモニターボタンを押すたびに曲が切り替わります。